

きずな



平成29年5月8日

我孫子市少年センターだより 第147号

我孫子市少年指導連絡協議会

会長 飯山 初美

我孫子市少年センター

センター長 横山 悦子

電話 04-7185-1367

FAX 04-7182-5867

新年度が始まり一月が経ち、校庭の桜は葉桜になり緑がまぶしい季節になりました。1年生も学校に慣れ、笑顔がはじけています。今年度もまた、『愛のひと声』をお願いします。



我孫子市少年センター・職員紹介

○平成29年度の少年センター職員は以下のとおりです。

センター長 横山 悦子
指導主事 山田 恭生
嘱託職員 佐藤 幸男
嘱託職員 松尾 奈緒美

市内ではこの4月に1029名(小学校)、1069名(中学校)の新入生を迎えました。「未来ある我孫子の子どもたち」の健全育成と非行防止のために、全力を尽くしていきたいと考えています。

平成29年度 我孫子市少年センターではこんな活動を行います。



1.我孫子市の青少年をめぐる現状と課題を把握し、改善方策を立案する。

- 学校教育と連携し、現状を把握する。
- 広報紙・HPを活用し、社会の中で規範意識を醸成するような支援及び情報提供をする。

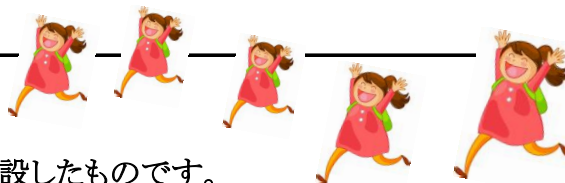
2.我孫子市の青少年が、良好な社会環境の中で自立できるように環境浄化を行う。

- 我孫子警察と連携し、青少年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止に向けた巡視を行う。
- 情報メディアを悪用した犯罪に巻き込まれないように青少年に届くメッセージを送る。

3.我孫子市の青少年が、社会の中で良好な人間関係が築けるように指導する。

- 我孫子市少年指導員が、関係機関と連携して街頭指導や一斉活動を行い、深夜徘徊等への帰宅指導や交通マナー遵守等の指導を行う。

子ども110番の家



○「子ども110番の家」は市PTA連絡協議会が提案創設したものです。

近年の社会環境の悪化や人間関係の希薄化等に伴い、「子どもを変質者から守ろう」「安心して生活できる街づくり」の推進を目的として、平成9年12月に市のPTA連絡協議会が提案し創設しました。これは子どもの避難場所を確保するというだけでなく、市民全体で子どもを見守ろうという意識の高揚を図る目的もありました。

我孫子市としてもこの趣旨に賛同し、少年センターを事務局として、パネル費用を補助し、学校や防犯協議会等との連携、自治会等を通じて地域に理解と協力・連携を呼びかけています。

【子ども110番の家の利用状況】(28年度)

登録数	利用件数	利用状況								
		不審者	けが手当	トイレ利用	物の貸出			その他		
					傘	電話	他	水飲	時間	他
679	5,970	3	140	4534	36	115	548	130	162	302

★プレートの交換等は、学校を通して少年センターへお申し出ください。

全小学校で「誘拐防止教室」開催

4月24日(月)～4月27日(木)の期間において、市内の小学校1年生を対象に、「誘拐防止教室」が開催されました。警察と少年指導員が協力し、『イカのおすし』の紙芝居を読み、「悪い人に連れ去られそうになったら、大きな声で助けを呼んで！」と呼びかけました。

各学校でも指導しますが、ご家庭でもお子様への注意喚起をお願いします。

また、不審者を発見した場合は、すぐに警察、または、少年センターまで連絡ください。



「交通安全じゅうちょう」寄贈

今年度も、ポラス株式会社様より、市内小学校1年生に、「交通安全じゅうちょう」が寄贈されました。4月21日(金)、湖北台西小学校において、贈呈式が行われ、代表の児童がノートを受け取りました。

また、本市の交通安全教育に多大な貢献をいただいているということで、倉部教育長からは感謝状が贈呈されました。



「スマートフォン」の使い方

ここで紹介するスマートフォンの使い方は、アメリカ人のジャネル・ホフマンさんが2012年に13歳になる息子にスマートフォンを与えたときにスマートフォンと一緒に渡したものです。世界中で話題になり、日本でもテレビなどで紹介されました。

18項目のうち、ここでは4項目だけ紹介します。



① 基本原則・所有者

これは私が買って私が料金を払う「私のケータイ」です。それをあなたに一時的に貸してあげるのでルールはきちんと守ってね。

② 利用時間と学校での作法

電話は学校へは持って行かないこと。メールでやり取りする友達とは直接「会話」をしなさい。ケータイなしでの活動には、自分自身の特別な判断力が必要だから、生きるための力が身に付きます。

③ 使い方・使ってはいけない使い方

便利な技術だからといって、嘘をついたりふざけてバカなことを言ったり、他の人をだましたりしてはいけません。

④ 使い方・使わない選択肢

時々、ケータイを家において出かけてみてね。その時、ケータイに頼らずにした決断に自信をもって。ケータイがなくても生活できるって学んでね。

「スマホ18の約束」より抜粋

編集後記

3月に、松戸市での事件があり、子どもたちを見守ってくださっている多くの人達に衝撃が走り、信頼は崩壊寸前になりました。

そんな折、4月21日(金)の少年指導員の理事会で、我孫子警察署生活安全課長より、「子どもたちを見守っている皆様のおかげで子どもたちの安全が守られている。今後も引き続き胸をはって見守りをお願いしたい。」という話をいただきました。

皆様方の「自分達の手で、防犯から子どもを守る」という正義感や情熱は、だれにも真似できるものではありません。これからも、引き続きよろしくお願いします。

地域全体で、子どもたちの安全・安心を守っていきたく願っています。

